【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年2月28日(2008.2.28)

【公開番号】特開2005-284258(P2005-284258A)
【公開日】平成17年10月13日(2005.10.13)
【年通号数】公開・登録公報2005-040
【出願番号】特願2005-10924(P2005-10924)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｆ　19/18　(2006.01)
Ｇ０６Ｔ　17/40　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｆ　19/18　Ｊ
Ｇ０６Ｔ　17/40　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月8日(2008.1.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
定義されたボリューム内で３次元オブジェクトを投射する方法であって、
投射機内に含まれる複数のバルブから投射媒体を押し出すこと、
三次元オブジェクトの断面を計算することによってイメージ・データを計算すること、
多量の投射媒体が前記投射機から流れ落ちるように、前記イメージ・データに基づいて選択されているバルブを開くこと、および
前記押し出された投射媒体を照明装置で照射すること
を備え、前記投射媒体は、三次元オブジェクトを形成し、前記三次元オブジェクトは周囲から可視可能であることを特徴とする方法。
【請求項２】
照射後の再使用のために前記投射媒体を再利用することをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項３】
照射後に前記投射媒体を廃棄することをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項４】
保持タンクを前記投射媒体で満たすことをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項５】
一定時間の間、前記投射媒体を照射するために前記照明装置を制御することをさらに備えることを特徴とする請求項１に記載の方法。
【請求項６】
定義されたボリューム内で３次元オブジェクトを投射する方法を実行するプログラムを有する一つまたは複数のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、
前記プログラムは、コンピュータに、
投射機内に含まれる複数のバルブから投射媒体を押し出す手順、
三次元オブジェクトの断面を計算することによってイメージ・データを計算する手順、

多量の投射媒体が前記投射機から流れ落ちるように、前記イメージ・データに基づいて選択されているバルブを開くこと手順、および
前記押し出された投射媒体を照明装置で照射する手順
を実行させ、
前記投射媒体は、三次元オブジェクトを形成し、前記三次元オブジェクトは周囲から可視可能であることを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【請求項７】
照射後の再使用のために前記投射媒体を再利用することをさらに備えることを特徴とする請求項６に記載のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【請求項８】
照射後に前記投射媒体を廃棄することをさらに備えることを特徴とする請求項６に記載のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【請求項９】
保持タンクを前記投射媒体で満たすことをさらに備えることを特徴とする請求項６に記載のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【請求項１０】
一定時間の間、前記投射媒体を照射するために前記照明装置を制御することをさらに備えることを特徴とする請求項６に記載のコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】投射方法